

美しいまちなみ大賞

門真市石原東・幸福北地区

所在地 大阪府門真市
地区面積 約0.9ha
応募者 門真市石原東・幸福北地区共同整備事業組合
門真市

＜地区の概要＞

当地区は、経済の高度成長期である昭和30年代後半から約10年間にわたって、基盤が未整備のまま大量の文化住宅、長屋住宅等38棟227戸が建設された、防災上、住環境上に課題のある面積約9,000㎡の地区でありました。

この地区を良好で美しいまちとして更新するため、地権者からなる共同整備事業組合を平成7年に設立し、市と組合で事業を実施してきました。市と組合間でお互いの役割分担を明確にするため「まちづくり事業協定」の締結、また魅力的でデザイン統一の景観づくりを行うため、「花と芸術のあふれるギャラリーのあるまち」をコンセプトに、「景観デザインルールブック」を作成し、これに則って建築物、道路、公園等調和のとれたまちなみが形成されています。



▲（従前）約0.9haに老朽建築物等が無秩序に建ち並び住環境の面でも問題があった。→（従後）平成16年9月の街開きをもって、すべての基盤（公園・道路）、新規建物は完成した。



▲バルコニー及び開口部にはプランターボックス設置スペースを設け、各棟の玄関部分には、ヨーロッパの面を装飾している。



▲外壁は、2階まではタイル張り、それ以上は吹き付け塗装で仕上げている。



▲「とおり庭」のイメージで路地を形成している。



▲区画道路2号線。幅員は6mでインターロッキング舗装をし、まちなみに合ったものとなっている。



▲住民の憩いの場となっている公園。面積：485.18㎡。耐震性貯水槽：40tを設置。